

夢サラダ Vol.35

2006.12.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。
 「今治市民活動センター」
 運営：(特非) 今治NPOサポートセンター
 【お問合せ】TEL/FAX 25-8234

はじめよう！ボランティア

個人の力では解決できない課題が、私たちの身近にはたくさんあります。そんなまちの課題を解決しようと、一市民が仲間を見つけ、自発的に行なう活動がボランティア活動です。豊かな自然を守りたいと願う活動、住み慣れた地域でずっと暮らしたいと願う障がい者を支援する活動、子ども達の放課後の安心・安全を願う活動など、今治市のボランティア活動も多様な分野に広がっています。ボランティア活動は、私たちの暮らしを豊かにする活動です。一人ひとりの力は小さくても、責任を持って関わる人の輪が広がることでまちは変わっていくのです。

ウインターボランティア・キャンペーン 2006 期間：H18.12月1日(金)～H19.1月31日(水)

ただ、ボランティア活動に参加したいと思っても、なかなか機会がなく一歩が踏み出せない方が多いのではないのでしょうか。そんな方に必見の「ウインターボランティア・キャンペーン 2006」が始まりました。冬の期間中、あなたの参加を待っている活動が「ボランティアイベントブック」にたくさん掲載されています。あなたが身近に感じる活動がきっとあるはずです。得意分野を活かすなど、興味のあることから参加してみてもいいかもしれません。



今治市のボランティア相談窓口は、今治市民活動センター並びに各支所総務課となっています。また、「愛媛ボランティアネット」(<http://nv.pref.ehime.jp/>)では、最新情報が随時掲載されます。

今治市の活動プログラム

■イベント

- ・いまばり市民劇場【12/1(金)～12/5(火)】
演劇「オセロー」の運営と準備
- ・SGGクラブ今治支部【12/16(土)】
国際交流活動

■高齢者への話し相手、行事の手伝い等【随時募集】

- ・ケアハウス寿山荘
- ・済生会今治第二病院
- ・今治なごみ苑

■障がい者とのふれあい交流【随時募集】

- ・エンゼル・21
作業所でのものづくり
- ・今治育成園
販売、農作業、各種行事の手伝い等

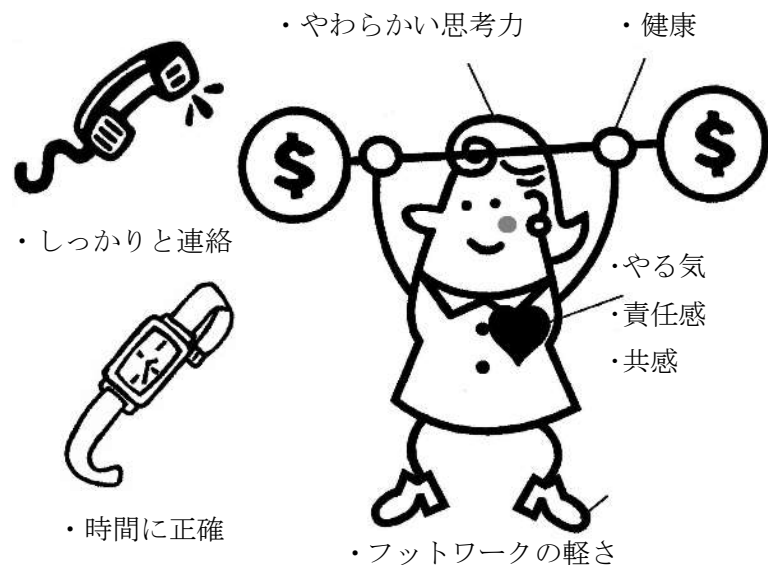
■清掃活動【随時募集】

- ・県が管理する河川、海岸
- ・行動、県道の緑化活動

「ボランティアイベントブック」は、今治市役所企画振興部市民まちづくり推進課、各支所、今治市民活動センターで配布しています。



ボランティア活動の心得～活動現場の声を聞いてみました。



●あいさつからはじめよう

—気持ちの良いあいさつはお互いの距離を縮め、信頼関係を作る第一歩になるでしょう。

●やると決めたこと、約束したことは守ろう

—休んだり、遅れたりする時には、事前に連絡を入れましょう。

●分からないことは遠慮なく聞こう

—困ったことがあったら、遠慮しないでスタッフに尋ねましょう。

●気付いたことは提案しよう

—「こうしたらいいな」と思ったことは、相談し、実行につなげましょう。

●ボランティア保険に加入しよう

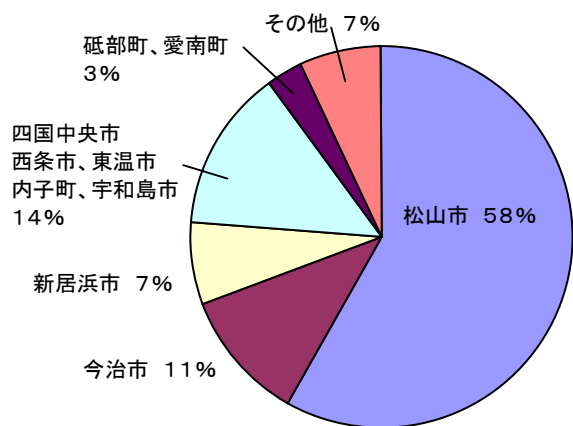
—活動中の事故や損害に備えて、ボランティア保険に加入しておきましょう。

「ボランティアコーディネータースキルアップ研修会」(H16 開催)より

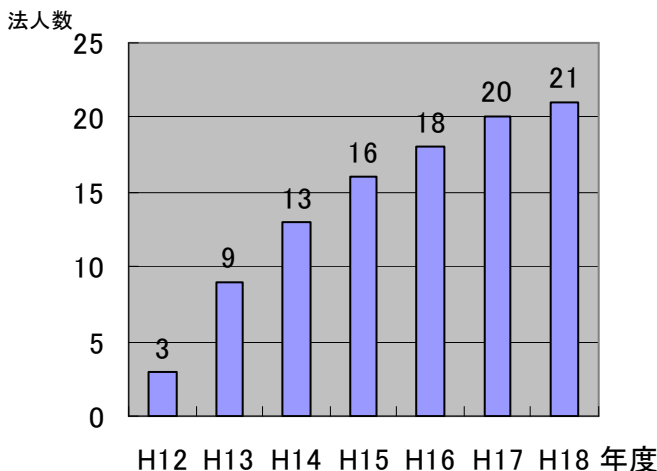
今治市を拠点に活動するNPO法人の状況

特定非営利活動促進法（NPO法）施行から7年あまり。その間、愛媛県認証NPO法人の数は200を超えるに至りました。「新しい社会サービスの担い手」、「市民の社会参加の受け皿」、「行政や企業のパートナー」として期待されるNPO法人。その現状を一緒に考えましょう。

グラフ① 市町別NPO法人の分布
H18年8月1日現在



グラフ② 今治市内NPO法人数の増加状況
H18年8月1日現在



県庁所在地である松山市で主な活動を展開する法人が全体の58%を占めています。今治市でも右肩上がりに法人が誕生し、松山市に次ぐ21法人が活躍しています。

表① 今治市を拠点に活動するNPO法人一覧

H18年8月1日現在

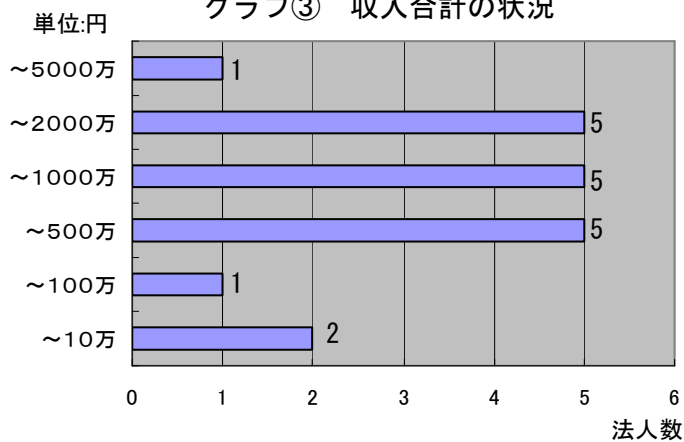
法人名	活動内容 (定款「目的」より抜粋)
愛媛県有機農業研究会	環境保全のための有機農業の啓発、生産者と消費者の提携の拡大など
今治NPOサポートセンター	NPOの運営又は活動に関する助言及び援助、ネットワークづくりなど
愛媛県断酒会	酒害に悩む人々への断酒の勧め、酒害に関する啓発活動など
大西NPOスイセイ	環境美化活動、高齢者の生活支援の活動、子供の健全育成の活動など
わをん	福祉サービスの提供、介護者への支援活動、介護教育事業など
愛児園マミーランド	保育を通じての乳幼児及びその保護者に対する育児支援など
虹舞	心の教育やフリースクールの運営、子どもと青少年の健全育成の活動など
青い瞳の会	共同生活型介護に関する事業及びショートステイの運営など
瀬戸内海蘇生交流会・えひめ	有用微生物の技術を活用しての環境浄化運動、瀬戸内海の蘇生の活動など
NPO今治センター	保健・福祉・介護サービス・地域の活性化・文化・芸術・スポーツ・環境の保全・防災・災害支援・交通安全・人権・国際交流・男女共同参画社会の促進・子どもの健全育成事業、団体への協力など事業
コミュニケーションハンディキャップ研究会	自閉症児・者等への環境構築による生涯にわたる社会的、生活的自立支援事業など
皐月	介護サービス事業、痴呆症・介護に関する情報提供、文化活動・介護教育活動など
フラット	障害者、高齢者の社会参加や自立生活支援、地域住民と共生できる社会づくりなど
エンジョイスポーツジニアーズ	幅広い年齢層の人々に対しての健康づくり、体力づくりのための運動指導など
子どもの未来育成支援会議 ハルモニア	ノーマライゼーションの理念とインクルージョン活動の保証を基本に、保健・福祉・国際交流・男女共同参画・児童の健全育成の事業、団体への協力など事業
しまなみ海道21世紀の会	しまなみ海道を活用した地域活性化イベントの企画、広報活動の事業など
能島の里を発展させる会	瀬戸内海の自然の保全・活用の広め、人と自然との調和の活動など
ケア・サポート	高齢者に対する介護サービス、痴呆症、介護に関する情報提供、介護教育活動・まちづくり事業・地球環境保全事業等を通じて地域社会と交流を図るなど
東洋歯学友好会	ベトナムにおける歯科治療を受けられない方への無償歯科医療を目指す活動など
ミズエコプラント研究会	一般の廃棄物の完全リサイクルを目指すミズエコプラントの開発など
今治しまなみスポーツクラブ	青少年の健全育成及び、今治市民の健康増進に寄与するスポーツ活動など



あらゆる分野に広がるNPO活動。今治市では高齢者、障がい者、子どもを対象にした保健・福祉の活動や環境保全活動が活発です。行政改革が叫ばれる中、行政とは別の価値観をもって、新しい公共サービスを提供するNPOの活躍が豊かな地域づくりの鍵を握ります。

「困っている人がいる」、「自然環境が悪くなっている」…、そんな気づきから活動をはじめたNPO。資金や人材がなくても、まずは動き出す、その機動力が魅力です。継続的な活動を展開するためには、人の巻き込み、資金の調達が大切です。NPOにも「経営」の視点が求められると言えます。今治市を主な活動現場とする19法人の財務状況から、NPOの自立的な運営について考えてみましょう。(平成17年度決算報告書提出19法人参照)

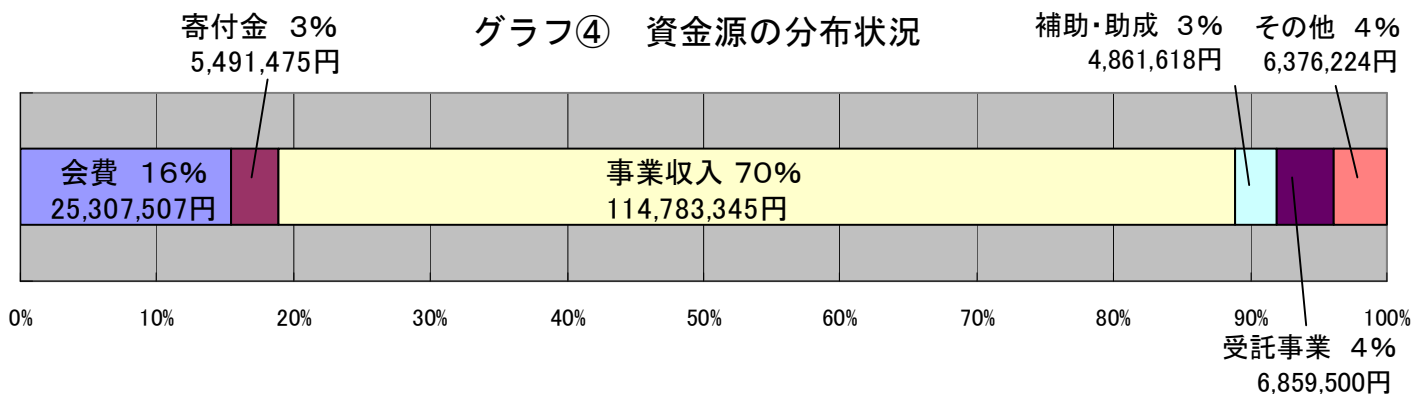
グラフ③ 収入合計の状況



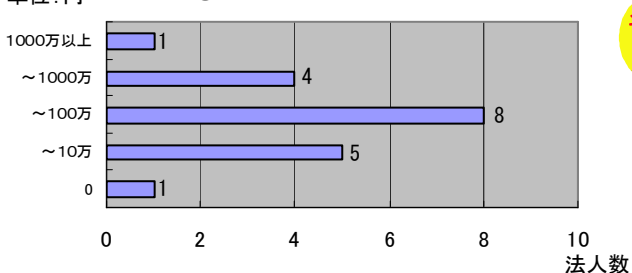
NPO法人はボランティアグループから発展していくケースが多く、「会費」「寄付金」が団体の財源の土台をつくっています。

近年は、利益をあげることが目的ではないけれど、公益的な事業をおこし、活動をする法人がどんどん生まれています。また、介護保険制度や障害者自立支援制度の中で事業を展開したり、行政から事業を受託したりする法人も増えてきました。「会費」「寄付金」以外の収入源を持つ法人は、収入規模が大きくなり、人の雇用も見られます。

グラフ④ 資金源の分布状況



グラフ⑤-1 会費・寄付金



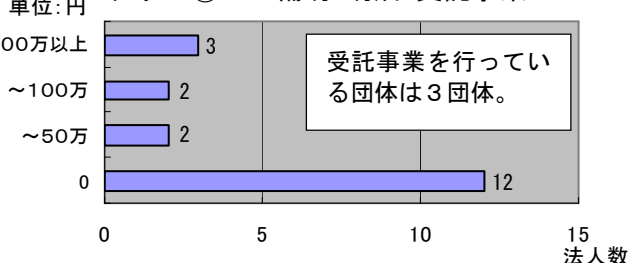
NPOの資金源は、①「会費」②「寄付金」③「事業収入」④「補助・助成」⑤「受託事業収入」の5つ。このバランスが財政安定につながります。

「会費」「寄付金」は、団体の方針に沿っていけば、自由に使える財源。「補助・助成」「受託事業収入」は潤沢な財源となりやすいですが、用途が限られており、さらに年度ごとに見直されるので、依存することは不安定要因です。NPOは“関心を持つ人々で成り立つ組織”という点からも、「会費」「寄付金」を集め、輪を広げることがとても重要です。大切なことは情報公開で共感・信頼を高めることです。成果や感謝をフィードバックすることで、継続的な協力が得られるでしょう。まずは、分かりやすい目的、集めたい資源の具体的な提示を始めましょう。

さらに、これまで無料で実施してきたセミナーの受益者負担を考えたり、活動で得られたデータをもとめて販売したりするなど、事業収入を得ることも模索してみましょう。

あなたの周りで活動するNPO。時間・技術・資金・物品提供など、協力・参加の方法は多様です。興味のある活動への関わりを始めてみませんか。

グラフ⑤-2 補助・助成・受託事業



グラフ⑤-3 事業収入



採択事業の現場拝見！

平成18年度 市民が共におこすまちづくり事業

採択事業の現場を随時紹介します。

◆大浜花いっぱい咲かす会

Q. 活動内容は？

A. 「花咲かおじさん現る！」瀬戸内しまなみ海道は来島海峡大橋のおひざもと今治市大浜地区。海道開通を機に、橋から見下ろす景観を大事にしたいという思いから、休耕田を整地し花を植えたのが活動の始まりです。橋の受け皿地域という立地条件・自然環境を活かし、ふるさとの活性化を図っています。

Q. 補助事業「大浜花いっぱい運動」の効果は？

A. 20アールの休耕田では四季折々の花を楽しむことができます。季節ごとにさまざまなイベントも企画。9月23日に開催したコスモス祭りでは、コスモス摘み放題のサービスや、地元文化を知ってもらうためのスタンプラリー、先着で鯛めしもふるまいました。スリーデーマーチでは接待所を花で飾り、ウォーカーさんたちに喜んでもらいました。大浜八幡神社、「越智一族発祥の地」の碑をまわる観光コースでは、樹齢70年のつつじが圧巻です！多彩なイベントに加え、普段から海岸掃除や植木の剪定を行うなど地道な活動が実を結び、市外からも観光に訪れる方が増えています。

Q. 今後の活動の目標は？

A. 現在会員は約30名ですが、自治会、婦人会、老人会、農漁業者などと連携することで継続した活動が可能です。また、日頃からお月見会や慰労をかねた研修会を開催するなどして親睦を深めています。現在的问题是会員の高齢化。地元の文化や魅力を子どもや若者に体感してもらいたい気持ちから、イベントを定期的で開催し参加を呼びかけています。また、来年は花カレンダーの作成も予定しています。花には人の心を癒す力があります。花を楽しむことで元気になってもらいたい、その思いで活動を続けています。帰りには大浜のおいしい魚を味わってもらうことで地元産業の活性化にもつなげていければ、と考えています。

問合せ：大浜花いっぱい咲かす会 事務局 ☎ 23-3737



◆朝倉読み語りグループ「フレンド」

Q. 朝倉読み語りグループ「フレンド」設立のきっかけは？

A. 皆さんは絵本『赤い灯台』を読んだことがありますか。かつて来島海峡鴻ノ瀬で船の安全な航海を見守った「赤灯台」誕生のエピソードをつづった絵本で、命の尊さを伝えてくれる作品です。今治市立下朝小学校で読み語りをするメンバーは、地域が舞台となっている絵本でありながら、その存在があまり地域の人達に知られていないことに寂しさを感じました。地域の誇りである文学作品を地域の子も達へ伝えたい、メンバーの中でそんな思いに賛同する者が集まり、「フレンド」を結成、思いを形にする動きが始まりました。

Q. 補助事業「わがふるさとの赤灯台」の成果は？

A. 地域が歩んだ海の歴史を絵本の読み語りを通して学ぶことによって、子ども達にもっと本への親しみを深めてもらいたいと企画に着手。その後、企画内容は各方面、各分野へ波及しました。「赤灯台」に関係した海図や絵葉書等の歴史資料200点の展示、講演会、人形劇、さらに「赤灯台」が移築保存されている唐子浜の海浜生物観察会までも実現。役目を終えた「赤灯台」の移築保存に尽力した先人の思いを受け継ごうとするかのように、協力の輪が生まれました。大人から子どもまでがふるさとの海の歴史や価値を見つめなおすきっかけになりました。

Q. 今後の活動の目標は？

A. 小さな思いからスタートした今回の事業で、たくさんのお会いがありました。子どもの情操育成を目指す読み読みの活動が、「赤灯台」という共通のテーマを持つことで、郷土史の普及や自然保護など異分野と手を取り合うことができたのです。多様な参加者の開拓、学びの深まりなど成果は相乗的に広がり、市民活動ならではの魅力を感じました。本事業でできたつながりを大切にしていきたいです。



「企業の社会貢献活動！」は都合によりお休みしました。